

概要

一般国道441号は愛媛県大洲市を起点とし、四万十市に至る延長約114kmの幹線道路であり、西土佐地区と四万十市中心部を結ぶ唯一の生活道路で、産業振興や日本最後の清流四万十川の観光ルートとしても大きな役割を果たす重要な路線です。

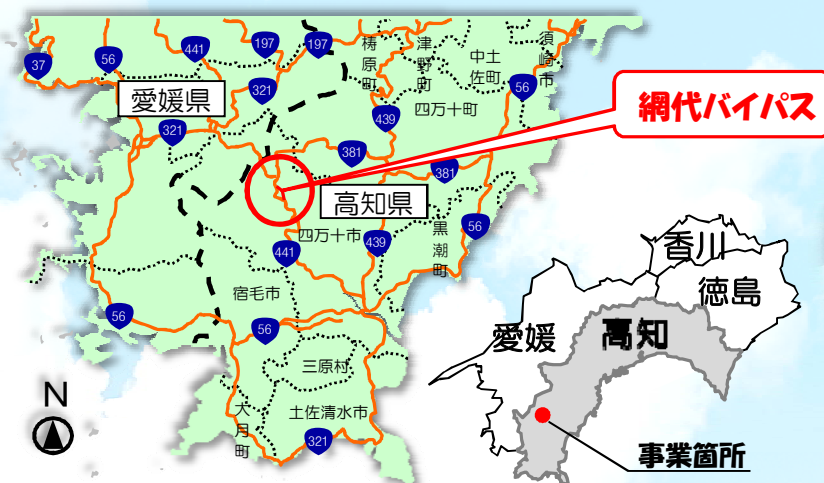
しかしながら、道幅が狭いうえ、落石の危険性がある箇所も多く、異常気象時通行規制区間にも指定されており、地域から安心して通行できる全線の早期整備を強く求められています。

このため、未改良区間の内、四万十市西土佐橋から同岩間までの区間を「網代バイパス」として2車線歩道付きの道路規格で整備しました。

【現道】



【バイパス】



お問い合わせ先

高知県 幡多土木事務所

〒787-0010

高知県四万十市古津賀4丁目61番

TEL 0880-34-5222

FAX 0880-35-5328

一般国道441号

あじろ 網代バイパス



高知県 幡多土木事務所

あじろ 国道441号 網代バイパス

【事業概要】

事業期間：平成6年度～平成25年度
 区 間：（起点）四万十市西土佐橋（終点）四万十市西土佐岩間
 延 長：L=3.1km（現道延長L=4.8km）
 道路規格：道路構造令 第3種3級
 幅員構成：車道=3.00m×2車線
 歩道=2.50m（橋梁、トンネル部は2.00m）
 設計速度：60km/h
 総事業費：約96億円

